

(別紙1)

事業報告書

事業名	健康寿命を延ばす介護（認知症）予防事業
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附（高齢者 分野）
事業実施期間	令和6年 4月 1日～令和7年 3月14日
事業内容	2025年には認知症高齢者が320万人に達すると予測される中、本事業は、高齢者の健康寿命延伸と地域社会における自立した生活を支援するため、地域での介護（認知症）予防教室と介護（認知症）予防に関する講演会を実施しました。 介護（認知症）予防に対する地域の関心を高め、単発的なイベントではなく継続的に続ける必要性を伝えました。そして、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを目指しました。
事業実施の果	地域での介護（認知症）予防教室は、全46回（実施箇所は13か所）開催し、参加人数は619名に上りました。 昨年度からのリピートが9カ所、新規が4カ所という結果となり、事業の地域展開を図ることができました。また、なるべく同一か所複数回実施することで、地域住民の継続的な参加を促し、認知症予防への意識向上が見られました。参加者アンケートの結果、83%が「満足」または「やや満足」と回答し、理解度については、「普通」と回答した方が最も多く、内容の難易度が適切であったと考えられます。参加者からは、「楽しく脳トレができた」「コミュニケーションの大切さを改めて認識した」「タブレット端末に興味を持った」など、積極的な感想が寄せられました。 介護（認知症）予防に関する講演会を「銀星の家」にて開催し、19名の参加を得ました。講演会を通じて、地域住民の認知症に対する理解と関心を深めることができました。 このように多くの高齢者が、法人やその活動について認知を深め、地域のコミュニティセンター等とのつながりが強化される結果となりました。 アンケートから実際の生活においても認知症予防や介護に関する知識が役立っていることが実感されています。 今後も、地域住民のニーズを把握しながら、より効果的な認知症予防事業を展開し、本事業を通じて得た知見やネットワークを活かした行政や他の団体との連携強化、持続可能な支援体制の構築を目指していきます。
備考	

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2024 年 4 月～	昨年度の内容の精査・検討、実施回数など決定 日程調整、開催場所の選定	高齢者	地 域 で の 介 護 予 防 (認 知 症) 予 防 教室 の べ 619 名
8 月～	チラシ作成・告知・四国新聞折込チラシ発注		
4 月～	予防教室、講演会実施 ※詳細はチラシおよび実績一覧を参照		
2025 年 3 月	アンケート集計結果分析 来年度に向けた開催内容の見直し		介 護 (認 知 症) 予 防 に 関 す る 講 演 会 19 名

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
N P O基金補助金額	★300,000	
自己資金計	18,365	①＋②＋③＋④
① 参加料収入		
② 会費等		
③ 寄附金等		
④ その他	18,365	NPO 自己資金
その他助成金等収入計		①＋②＋③
① 補助金収入		
② 委託金収入	230,800	コミュニティセンターなどからの謝金 (地域での介護予防教室)
③ その他	30,250	開催施設からの謝金ほか (介護予防に関する講演会)
その他資金収入		
合 計	579,415	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
【教室】講師委託料	470,000	200,000	@10,000 円×47 名 ※参加多数の山田公民館へは 講師 2 名派遣 (詳細は別紙参照)
【教室】講師交通費	23,500	20,000	@500 円×47 名 ※参加多数の山田公民館へは 講師 2 名派遣 (詳細は別紙参照)
【教室】講師駐車場代	800	0	@800 円×1 回
【講演会】講師委託料	30,000	25,000	@30,000 円×1 回
【講演会】講師交通費	500	500	@500 円×1 回
チラシ作成費	33,000	33,000	デザイン料
四国新聞折込広告	21,615	21,500	NPO 基金団体指定事業と両面でチ ラシを作成したため、請求額の半額を 計上
講演会場使用料	0	0	理事長の尽力で、会場は無償提供
合 計	579,415	★300,000	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。